



DIA-BURS
SELF CREATOR
Preparation Set

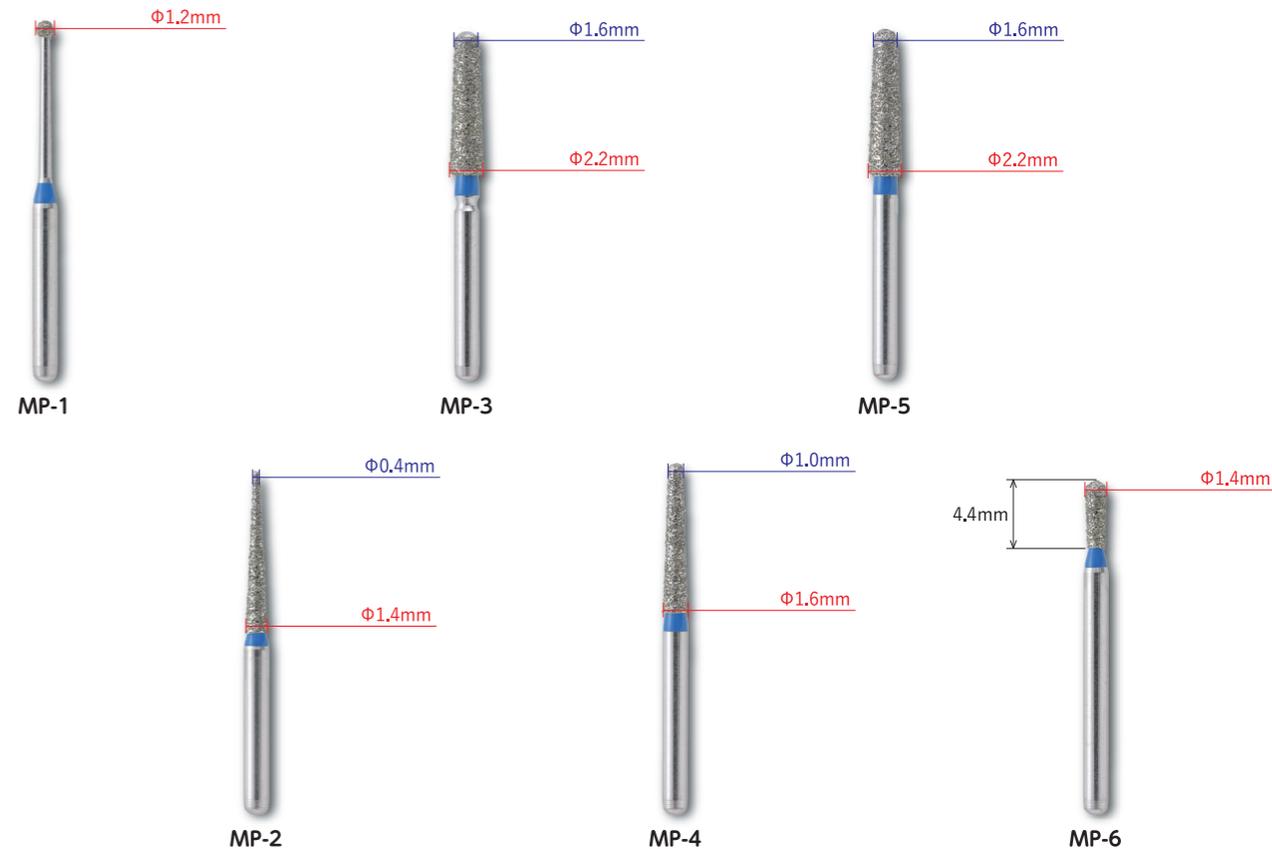
▶ Concept

■ Designed for Tooth Preparation

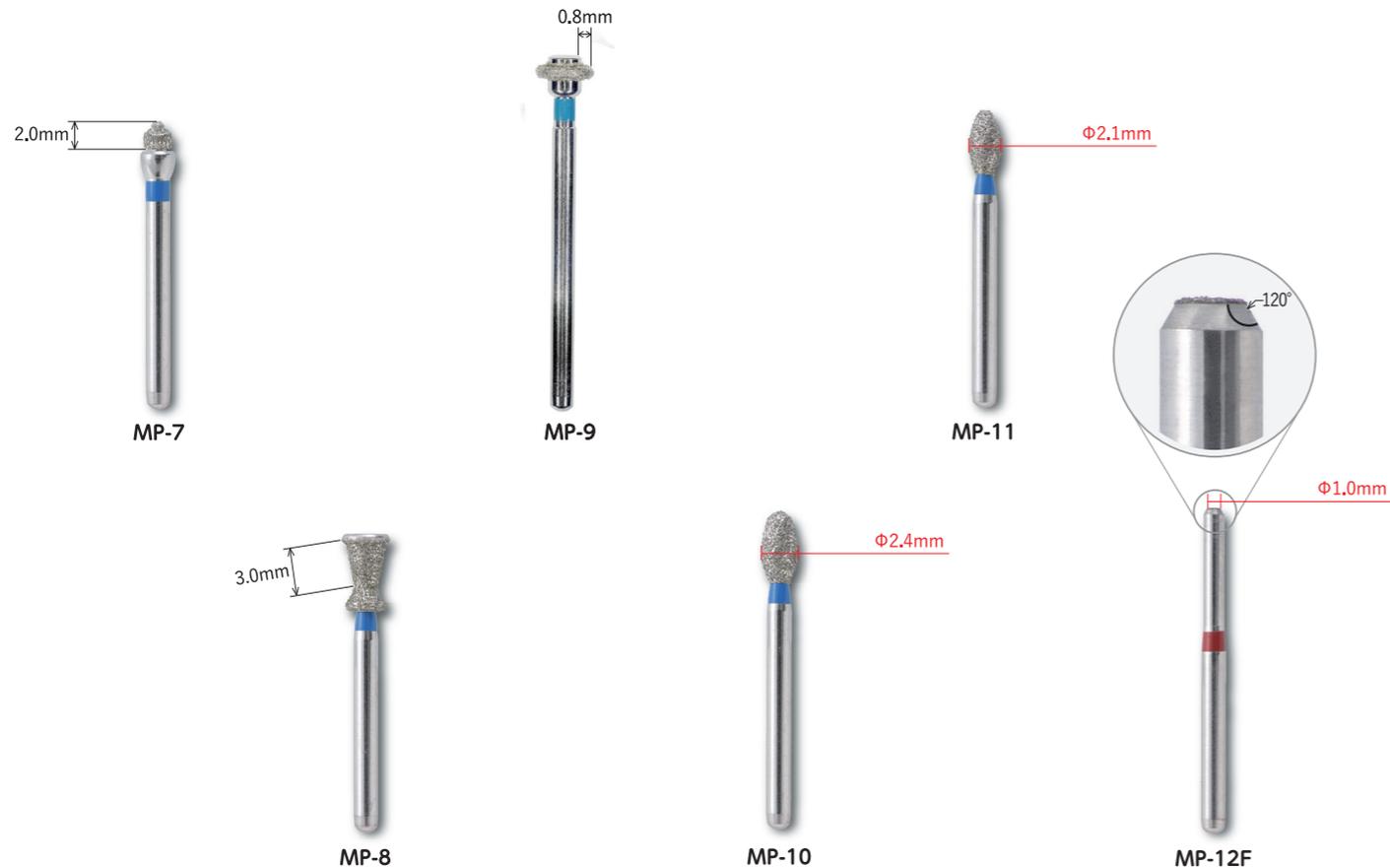


支台歯形成用ダイヤモンドパーセツト (**SELF CREATOR**) は、全ての形態において、理想のテーパ値、角度、長さを付与することを目指して設計しました。規定通りに使用することで、術者の支台歯形成をサポートします。

アドバイザー
医療法人慈愛恵真会 あらかい歯科医院
松本 勝利 先生



※ダイヤモンドの厚みにより、数値にごくわずかな差が生じることがあります。



▶ Instruction - Anterior

Step 1 唇・舌側マージン形成
削りノリシロを残した状態でマージンの上下の設定位置と水平的な幅を設定する。
唇側:高さ0.3mm 深さ1.2mm
舌側:高さ0.3mm 深さ0.6mm

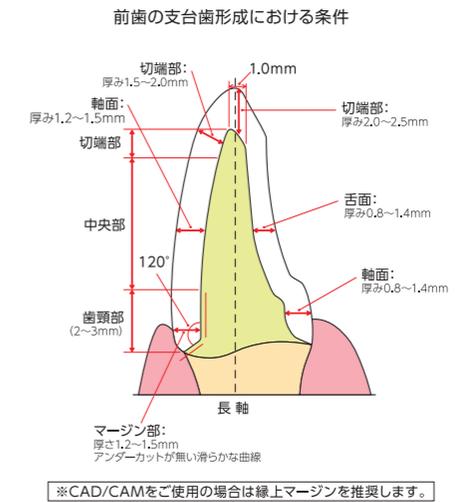
Step 2 隣接開放
隣接面を傷つけないように切端から歯頸部へ形成し開放する。

Step 3 切端グループ形成
切端を必要量削除する。
1回につき0.8mm程度削除可能。

Step 4 唇面グループ形成
唇面に補綴物の厚みを考慮しながらデブスグループ0.8mmの深さで形成する。

Step 5 舌面グループ形成
クリアランスを考慮してデブスグループを1.0mm程度の深さで形成する。

Step 6 第1面形成
歯軸を考慮しながら軸面を形成する①
歯軸に合わせて1.4mmの深さで形成する。



Step 7 第2面形成
歯軸を考慮しながら軸面を形成する②
第1面の立ち上がり部2-3mmを削合しない様に角度を変えて形成する。

Step 8 切端削除
幅と傾斜を考慮しながら咬蓋方向に多少傾斜する様に形成する。

Step 9 第3面形成
歯軸と審美的なクリアランスを考慮して、角度を変えて形成する。

Step 10 隣接部形成
隣接面のマージン部を切端から歯頸部へ整える。

Step 11 舌面形成
クリアランスを考慮して舌面を形成する。

Step 12 唇側マージン仕上げ
唇側マージンを歯軸に対して120°の傾斜でスローブショルダーに整える。

Step 13 マージン仕上げ / 四隅角の整理
近遠心頬舌側の四隅角を移行的に仕上げる。
マージン線下方方向への深さと水平的な幅を整え、四隅角とマージンの幅を一定にする。

完成
※写真は仕上げにホワイトポイントを使用し仕上げています。
※CAD/CAMをご使用の場合は隅角部の鋭角を丸めることを推奨します。

▶ Instruction - Posterior

Step 1 頬・舌面マージン形成
削りノリシロを残した状態でマージンの上下の設定位置と水平的な幅を設定する。
高さ0.3mm深さ0.6mmで形成する。

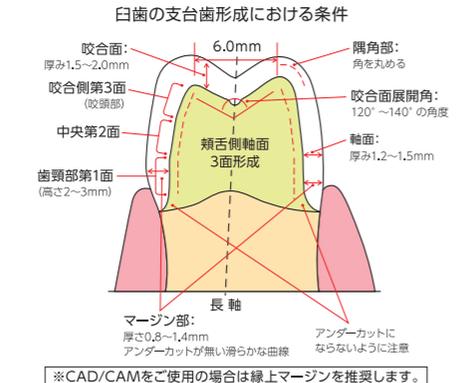
Step 2 隣接開放
隣接面を傷つけないように頬側から舌側へ、そして咬合面側から歯頸部へ形成を進める。

Step 3 頬・舌面グループ形成
軸面の傾斜と補綴物の厚みを考慮して頬舌側第1、2面のグループを1.0mm程度の深さで形成する。

Step 4 咬合面小窩部形成
咬合面の補綴物の厚みを考慮して咬合面グループを入れる①
咬合面の各小窩部を深さ1.5mmで形成する。

Step 5 咬合面主製溝部グループ形成
咬合面の補綴物の厚みを考慮して咬合面グループを入れる②
機能咬頭側2.0mm、非機能咬頭側1.5mm、中心溝・辺縁線部を深さ1.5mmで形成する。

Step 6 咬合面咬頭隆部グループ形成
咬合面の補綴物の厚みを考慮して咬合面グループを入れる③
各咬頭隆部部の深さは機能咬頭側で2.0mm、非機能咬頭側で1.5mm形成する。



Step 10 頬側第1、2面形成
歯軸を考慮しながら軸面を形成する①
第1面を0.8mm(バーの半径)、第2面を第1面の立ち上がり2~3mmを崩さない様整える。

Step 11 舌側第1、2面形成
歯軸を考慮しながら軸面を形成する②
第1面を0.8mm(バーの半径)、第2面を第1面の立ち上がり2~3mmを崩さない様整える。

Step 12 頬・舌側第3面形成
第2面と9、で咬合面に出来た溝を繋げるように第3面を形成する。
咬合面頬側にできたグループと結ぶ様に形成する。

Step 13 隣接形成 / 四隅角の整理
近遠心頬舌側の角が残らない様に四隅角を移行的に仕上げる。
隣接面を咬合面から歯頸部へ形成し、四隅角をマージンの幅が一定になる様整える。

Step 14 マージン部形成
マージンの線下方へ向うの深さを整える。

完成
※写真は仕上げにホワイトポイントを使用し仕上げています。

▶ Line up



*ご使用前には口腔外で振れ等がないことをご確認下さい。特にネック部が細長い形態であるMP-1、MP-1F、MP-9、MP-9F、は、許容回転数を超えた使用により振れが生じる恐れがあります。異常が確認された場合にはご使用を直ちに中止してください。

■ Product Composition

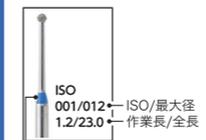
12本セット / 10,300円 (MP-1 ~ MP-12F)
1シート5本入 / 4,300円

| | |
|-------------|------|
| MP-1~MP-4 | 前・臼歯 |
| MP-5~MP-8 | 臼歯 |
| MP-9~MP-12F | 前歯 |

2025年9月時点の税抜価格です。

製品ラインナップ

形状の見方



| 品番 | MP-1 | MP-2 | MP-3 | MP-4 | MP-5 | MP-6 | MP-7 | MP-8 | MP-9 | MP-10 | MP-11 | MP-12F |
|------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 形成部 | マージン形成 | 隣接面除去 | 軸面形成 (先端ダイヤ有) | 軸面形成 (先端ダイヤ有) | 隣接部軸面形成 (先端ダイヤ有) | 咬合面削除 | 中心窩形成 | 咬合面形成 | 形成用 デブスマーカー | 舌面形成(大) | 舌面形成(小) | エンド カッティング |
| 形状 | | | | | | | | | | | | |
| 最高許容回転数 (min ⁻¹) | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 | 160,000 | 300,000 | 300,000 | 300,000 |
| 砥粒サイズ | スタンダード (106-125μm) |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

製品ご使用前に電子添文を必ずお読みください。

製造販売 **マニー株式会社**
〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地8-3
【デンタル国内営業】Tel:028-667-8591 / Fax:028-667-8593
URL:http://www.mani.co.jp

発売 **株式会社モリタ**
大阪本社 〒564-8650 大阪吹田市垂水町3丁目33番18号 Tel:06-6380-2525
東京本社 〒110-8513 東京都台東区上野2丁目11番15号 Tel:03-3834-6161

医療機器届出番号 09B1X00006002010
一般医療機器 一般的名称: 歯科用ダイヤモンドバー
販売名 マニーダイヤモンドバー